

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

アンケート期間:令和元年10月末～11月末

職員数 9 回収数 9 割合100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4	利用者の特性やニーズに合わせて訓練室以外の部屋も利用している。また近くの公園や図書館も利用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	1	規程よりも多く配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9		肢体不自由の利用者いないため特にバリアフリー化はされていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9		毎日の業務前後と月一回の全体ミーティングで改善のための情報把握・共有をしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9		保護者にアンケートを実施し、意向・ニーズを職員間で共有している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	2	会報には載せていないが、法人ホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	5	外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		外部研修に参加することが多い。内部研修の機会を増やしたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9		児発管が担当し、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	使いやすいアセスメントツールを利用したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9		職員の提案・発言を基に立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9		季節や天気、利用者の状況に合わせて、工夫。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9		長期休暇に特化したプログラムや課題を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9		利用者毎に異なる個別活動と集団活動を組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9		当日勤務の職員全員参加で確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9		振り返りや気付いた点は口頭だけでなく記録にも残している。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		振り返りや気付いた点は口頭だけでなく記録にも残している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1	年に二回モニタリングを行い、必要があれば見直し、計画の変更を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	1	ガイドラインに基づいて組み合わせている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1	児発管が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	1	お迎え時に学校側と情報の交換・共有をしているが詳細は出来ていない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9		現在過去と医療的ケア児の受け入れがない。該当者受け入れの際は体制を整える予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9		新たに利用が始まる際には情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9		今までに移行した利用者がいない。今後移行の際は提供していく予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9		センター主催の研修会に参加している。
関係機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	6	現在あまり機会がないため、今後の課題と捉えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	9		児発管や常勤児童指導員が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9		送迎時に行い、また、年に二回の保護者面談の機会も設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	5	保護者交流会を計画し、その中で意見交換や支援を行う。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		児発管が契約締結時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9		主に児発管が行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	4	今年度中に開催予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	主に児発管が対応している。

責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		毎月お便りを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	9		個人ファイル等は鍵付きロッカーに保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9		傾聴したり本人の特性に合った方法でコミュニケーションをとっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9		夏祭りを開催して地域住民に参加してもらった。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	4	現在作成途中であり、簡易な書類は契約時に手渡し、説明している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	2	月に一回の割合で実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1	虐待防止研修に全職員で参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	3	身体拘束は不必要と捉えているので特に記載はしていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9		現在まで食物アレルギーを持つ利用者はいないが、利用がある際には指示書に基づく対応を必ずすべきと考えている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9		ヒヤリハットファイルを作成し、職員全体会議時に共有している。